

一般社団法人 宮城外洋帆走協会 第4回理事会議事録

記録者：広報・佐久間

開催日時：平成26年6月29日（日）16:00～18:30

場所：宮城外洋帆走協会事務所

出席者：赤石理事長 鈴木副理事長 木村副理事長 橋内理事 多田理事
阿部理事 佐藤理事 吉田理事 佐久間理事 飯島監事

- 1 定足数確認 理事12名中9名出席により成立。
- 2 議事に先立ち議長に木村副理事長を指名した。
- 3 議題

(1) 報告事項

① 赤石理事長

- ・下水管の延長とトイレの整備のお願いに5月24日七ヶ浜町総務課を訪問し、6月20日に返事をいただいた。七ヶ浜町として現時点での設置は困難であるが県との交渉に望みをつなぐ内容。レジメ参照。
- ・6月6日宮城県洋上救急支援協議会に参加した。
洋上でのドクターヘリ救助活動は当時のMORC理事長である山形淳先生の発案で具体化し、現在は日本全国に広く普及していることが紹介された。
- ・消防署から救急処置のビデオをいただいた。

② 総務

- ・書庫に鍵をつけた。マスターキーの管理は赤石 木村 出雲の3氏が行なう。
- ・一般社団法人の移行に伴い、新たに角判を5個作った。
- ・コピー・ファックス複合機とPC購入、設置した。
- ・新理事会の登記は来週中に橋内理事が行う。

③ 会員

- ・160名に対してアンケートを行った。現在集計中次回理事会で報告予定。
- ・団体会員の名簿の整理ができた。メンバーリストの作成・連絡協議会を作る予定。
- ・現在小浜の所属艇は29艇・9団体が登録されている。
- ・MORCの会員名簿上は110名の会員がおり、明らかな退会者は13名・会費未納2年以上の者が9名いる。連絡をして会費支払いがなければ退会とする。

(2) 審議事項

① 会員

- ・ポンツーン設置に伴い新規入会の艇が見込まれることから入会規定の見直しを理事会で行い、年末の総会で採決していただく。入会金はこれまで同様1万円とする。
- ・宮城外洋帆走協会の会費として個人1万円 艇登録料1万円（艇の長さに関係なく）を毎年徴収する。

② 安全

・AED をアクトメディカルサービスより購入・設置予定。合わせて使用法と救命救急の講習会も開催して、設置と使用法の普及に努める。

③ レース・広報

・気仙沼応援航海 8月15から17日の日程で開催予定。

現在予定の泊地は松岩漁港であるが、できるだけ便の良いところを折衝していただく。

35ft以上の艇を3艇・参加は20名以上を確保したい。

メッセージの横断幕はMORCを宮城外洋帆走協会として作成する。

マスコミに対して体験乗船も含め取材依頼をする。

・トレッキーカップ

予定通り開催、HPにポスター・案内・申し込みも掲載している。

やはりマスコミに取材依頼をする。

④ 総務・広報

・国体等のヨット大会の陸上本部として小浜事務所を利用する場合、利用団体が文書でもって使用願いを出して頂き、MORCが使用許可を出す事とする。

・津波ボランティアを対象とした体験帆走。

8月24日予定通り開催予定だが、ポンツーン工事の進捗状況により変更あり。(1か月前にアナウンス)

七ヶ浜だけではなく閑上のボランティアも対象とし20名以内の参加。

昼食代・保険料はMORCが負担する。

マスコミへの取材依頼をする。

・講習会の開催

11月15日(土) 午後3時から 仙台市内

内容

new PEC と AIS の活用法(仮) 講演 古野電気

VHF16ch 利用の基本ルール(仮) 保安庁

ヨット愛好者を対象とし、要害・東宮・浜田に通知予定。

担当は 佐々木 阿部 橘内 木村理事。

・物品購入をした場合は木村理事もしくは出雲氏にメールで連絡する。

3. 次回理事会開催日程

8月3日(日) 15時から

議題：各委員会の取り組み進捗確認 他